

## ● 採血室の“血の臭い”と採血方法

4月頃、検査室で採血を受けた。午後の1時を過ぎたところであったか？室内に入ると血のにおいがムツとした。検査業務と受付の仕切りをしてもらいたい。採血の方法も腕をカバーのされた窓口にさしだすのはまるで銀行の業務のようで事務的な扱いを受けているように思われた。

10/07/01

## ● 検査部からの回答

採血室で血の臭いからムツとされたとのこと、不快な思いをされたことに、まずお詫び申し上げます。採血室の排気、換気には注意を払っておりますが、天候、特にその日の気温・湿度によっては、換気の効率が低下し、採血に使用した後の注射器などを容れる容器から臭いが発生することもあるのではと想像しております（採血された血液は密封された容器に入っているため、臭いを発するとは考えられません）。病院施設の老朽化とも相まって、常に最善の状態を維持できない点をお詫び致します。この点、仕切りを設置してはどうかというご指摘ですが、患者さんから採血した血液がどのように取り扱われ、検査の測定がどのように行われるのか興味をおもちの方々もおられます。ご希望があれば、検査室を見学したいという申し出もお受けしております。そのような意図で視野の広い採血室をデザインしたということもご理解ください。

採血方法へのご指摘、ありがとうございます。事務的な（銀行の業務のような）印象を受けられたとのこと、私共としましては大変残念に思っています。中央採血室での外来採血を開始してから、利用者が大変増加しています。採血時の安全性（患者さんの本人確認も含め）と快適性を両立させながら、採血業務を円滑に実施できるよう工夫を加え、現在の方法を採用するに至っています。このような経験と工夫の積み重ねから、現在のような採血方法になったということをご理解ください。また、“カバーのされた窓口”という内容が理解できませんが、もし患者さんを分ける“仕切り”のことだとしますと、この点についても大いに悩みました。“仕切り”を設置して患者さんのプライバシーを保護しなさいという病院を指導する立場の組織からの指摘、逆に“仕切り”をすると、隣の採血が見えなくなり、なにか異変があった時、採血担当者がお互いに助け合えなくなる…何ごとにも一長一短があると実感している次第です。しかし、今回のご指摘から、改善の余地がある事柄を、職員の対応も含め、改めて検討させていただき、今後の運営に反映したいと思っております。貴重なご意見ありがとうございました。

10/07/01